

Bell Friend

鈴鹿大学短期大学部 鈴友会会報 卒業記念号
令和 5年 3月 15日発行



皆様のご壮健・ご活躍を祈念します



鈴鹿大学短期大学部 学長
長澤 貴

ご卒業おめでとうございます。皆さんを鈴鹿大学短期大学部へお迎えしてから、あっという間に、皆さんを送り出す日を迎えました。皆さんが、鈴鹿大学短期大学部で学んだ2年間は、コロナ禍という誰も経験したことがない事態の真っ只中でした。そんな中で、皆さんは不安や戸惑いの中学びを継続されました。我々、教職員は丸となって皆さんが安心して、満足して学びが継続できるように尽くしてきたと自負しております。誰も経験したことがないことを経験してきたこと、そんな中で学んできたことが、皆さんがこれから様々な困難や先行き不透明な時代を生きていく上での自信となっていくことを願っています。さて、卒業は、学びの終わり、完結を意味するものではありません。皆さんは、これから答えのない時代で、自分なりの、その場面での答えを自ら見つけていくことが求められています。最適な答えを見つけるために、これからも、いや、これまでに以上に学ぶことが重要です。鈴鹿大学短期大学部で学んだ2年間で、皆さんは、これからの学びの基礎を培ってきました。自信をもってこれからも学び続けてください。しかし、迷い、悩んだらいつでも母校へ足を運んでください。ここはいつまでも皆さんにとっての学びの場であり、我々教職員は、皆さんの学びを応援し続ける存在です。最後に、本日まで卒業生の成長を支え続けてこられた、家族を始め関係者の方々、本日この日を迎えられたことを心よりお祝申し上げます。



鈴友会会長
鎌田 美千代
(昭和 56 年度卒業)

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。そして、同窓会（鈴友会）の会員になられたことを、心より歓迎いたします。

鈴鹿大学短期大学部同窓会は、「母校創立の精神に基づき（誠実で信頼される人に）会員相互の親睦と教養の向上をはかり、母校の発展を援助すること」を目的として、同窓生から選出された役員により、総会の開催、会報誌の発行、会員名簿の作成・管理などの活動を行っています。

昭和 43 年に発足した鈴友会は、50 年以上活動を継続し、会員数も 8500 名を超えました。

社会の多方面で活躍されておられる先輩方と、本日入会されました皆様を結ぶのも同窓会の役目で、昨年 10 月末に 4 年ぶりに対面で総会を開催した時も、大学祭も開催されていたこともありましたが、3 月に卒業された会員の方々も総会に出席していただきました。また、大学祭では、学生の皆さんや教職員の皆様から生き生きとした活気が伝わり、気持ちのよいエネルギーをもらいました。

今は社会も経済も大きな変化が余儀なくされるなか、鈴鹿大学短期大学部で学んだことを生かし、変化に柔軟に適応し皆様の明日がより良きものとなりますよう、心より願っています。

皆様の益々のご活躍をお祈りしています。



生活コミュニケーション学科 食物栄養学専攻 (木下 麻衣)

ご卒業おめでとうございます。

短大の2年間はきっとあっという間だったかと思いますが、充実した日々を送ることができたでしょうか。コロナ禍ということもあり、できなかったことも多かったかもしれません。私ももっとみなさんと楽しいイベントなどができればよかったな、とも思います。そんな短い2年間の中でも、みなさんが努力をすることで成長し、卒業していく姿を見れることをうれしく思います。卒業後はみなさんそれぞれが新しい道へ進みますが、楽しいことだけでなく辛いことも待っているかもしれません。しかし、みなさんなら、短大生活で楽しかったこと、がんばったこと、嬉しかったこと、悔しかったこと、辛かったことなど、経験したすべてのことを役立てて、乗り越えられると信じています。また、人生はこれからの方が長いです。これからも向上心を忘れずに様々なことに挑戦して、どんどん成長してください。そして成長した姿でまたお会いできるのを楽しみにしています。

どんな時も笑顔を忘れず、人との出会いやつながりを大切に、がんばってください。みなさんのご健康とご活躍を祈っています。



生活コミュニケーション学科 こども学専攻 (田中 裕子)

皆さんご卒業おめでとうございます。

短大で色々な人と出会い、色々な経験をして学んできましたね。日々の勉学、実習、就活等、たくさんの困難を乗り越えてきたことでしょう。「失敗は成功のもと」これからもたくさん失敗してたくさん挑戦してください。失敗をしても「どうしてうまくいかなかったのか？」常に振り返り、前に進むのです。

皆さんはこれからそれぞれの選んだ道に進みます。新しい環境や仲間との出会いに楽しみな反面、不安も大きいと思います。最初は何事も初めての連続です。「失敗したらどうしよう」「何か成し遂げないと」と思い過ぎず、まずはやってみる。日々チャレンジすることで新たな気づきや成長にきっとつながると思います。そうやって人は成長していきます。辛い時はいつでも学生生活でのつながりを大切に進み続けて下さいね。



私は学食からC棟につながる通路から見る鈴鹿山脈の景色が大好きです。忙しく通り過ぎようとしたある日、その美しい山の前に大きな虹がきれいにかかっていました。とてもきれいで、「にじ」の歌にあるように「きっとあしたはいいてんき」という歌詞を思い出しました。きっと皆さんの先の未来には素敵なことが待っています。

先生も含めて、ここにいる皆があなたの仲間です。先生は皆さんを応援しています。くれぐれも体に気をつけて、また自分を大切に、笑顔を忘れず頑張ってください！

～幹事紹介～

令和4年度卒業生は、本日鈴友会に入会します。そして、次に紹介する4名の方々に幹事を務めていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。食物栄養学専攻・・・山西優花さん、山本直毅さん
こども学専攻・・・鈴木奈々さん、中山日陽さん

鈴友会事務局便り

卒業後、鈴友会からご連絡をさせていただくこともありますので、住所・改姓・電話番号など連絡先に変更がありましたら、鈴友会事務局までご連絡をお願いいたします。

皆さん、時々クラス会を開催して、近況を把握してください。クラス会報告、近況報告、随時受け付けております。

皆さんで楽しい会報を作りましょう。